



三木山陽病院は発足から30年を迎えました

ここまで無事にやって来れましたことをすべての関係者の方々、地域の皆さんそして当院の職員に感謝したいと思います。

当初は内科単独で始まりましたが、病院の新建築を経ながら整形外科、眼科、外科、皮膚科、泌尿器科と開設し、だいぶん格好のつく病院になってきました。

色々な人のおかげで外来患者数は年間のべ10万人を超え、さあこれからもうワンステップの飛躍というところで、2020年新型コロナウイルスがやってきました。私たちの病院にも大きな影響を及ぼしました。病院にとっては難敵でした、世の中では過去の出来事のようになりかけていますが、今でも患者さんを守るために必要なことは忘れることなく対応しながら、通常通りの診療を行っています。

今年8月に5回目の病院機能評価の審査を受けました。この機能評価で求められることをすべて実践することにより、20年かかりましたが病院の組織の土台ができ、医療の質もすべての分野において一定の基準を超える状態を維持することができるようになりました。

30年近く外来をしていると、当たり前のことですが私が診ている患者さんは以前とは異なる顔ぶれになっています。とは言いながら、今、定期的に通っていただいている方には、実は最期を診させていただいた方の奥さんであったりそのご家族の方がいっぱいおられます。これも信頼の一つの証かと、改めて期待に応えなければいけないと感じています。

これからの病院運営には厳しいものがあります。今まで通りではだめです。いつも前向きに努力する病院しか生き残っていけないと思っています。近い将来、病院にもAIやロボット技術が入ってくるでしょう、想像もつかないようなものが登場するかもしれません。しかし、だからこそ患者さんの心を理解する優しい心をもって医療を行うことが、私たちの大きな役割になってくると思っています。

”心と技術の調和した、優しく信頼される病院に“

これを病院の理念とし、心、優しさを基本方針の一番にしてきました。さらには、地域のニーズに応えるためにどんな時でも断らない病院であることを基本姿勢としてきました。しかし現在の救急車の応需率は80%です。100%ではありません。優しさも100%ではないでしょう。どちらも100%になるように私たちは改めて努力していきたいと思っています。

皆様これからもよろしくお願い致します。

理事長 森田 須美春





当院は 肥満症治療薬を保険適応で処方できる
三木市唯一の病院です



ちまたで話題の肥満症治療薬、マンジャロ（成分名：チルゼパチド）。

当院はマンジャロと同成分の肥満症治療薬のゼップバウンド、並びに、脂肪肝の改善効果のあるウゴービ（成分名：セマグルチド）を、肥満症の患者様に保険適応で処方できる三木市唯一の病院です。

これらの治療薬はもともと糖尿病の治療薬でしたが、食欲を減らす効果を持ち、体重減少に劇的な効果があります。

肥満による健康障害“肥満症”の患者様には保険適応になる場合があります。

ご自宅で週1回、非常に簡便に自己注射する薬です。

ゼップバウンドでは、肥満指数BMI 28.5〔標準値20～25〕の日本人では52週で、標準用量(10mg)で-8.5kg (-11.0%)、最大容量(15mg)で-10.7kg (-13.9%)の減量が報告されています(SURPASS J-mono試験)。

特定の肥満関連疾病をお持ちの方にのみ保険適応で処方することができます。

高血圧、脂質異常症、糖尿病、睡眠時無呼吸症候群、慢性心不全、脂肪肝をお持ちのBMI 27以上の方で、減量にご興味がある方は内科外来へお問い合わせください。

当院には糖尿病治療で同薬の治療経験豊富な糖尿病内科・消化器内科専門医が在籍し、薬物療法・食事運動療法で皆様の減量を助力いたします。

BMI 計算方法：体重[kg] ÷ 身長[m] ÷ 身長[m]（※単位はcmではなくmです）
標準値は20～25です。

内科 村上 拓

<栄養士より皆様へのメッセージ>



食生活・食習慣は一人ひとり違います。
あなたの生活スタイルに合ったベストな改善策を
一緒に考え、全力でサポートさせていただきます。
私たちと共に二人三脚で頑張りましょう！



災害に備えて お薬の準備を



9月1日は「防災の日」です。阪神淡路大震災以降、地震や水害などの天災が続きます。最近では、九州で令和8年熊本地震があり、各地で豪雨による水害が起きています。

大災害に見舞われた時、かかりつけの病院は機能していないかもしれません。他の地域から駆けつけてくれた医師に、自分が服用しているお薬を伝えることが出来ますか？

平常時では、「お薬手帳」がありますが、非常時に持ち出すことは困難です。このような時に、「お薬手帳アプリ」※1が役立ちます。難しければ、ご自身のスマホでお薬手帳やお薬そのものの写真を撮って保存するだけでも大丈夫です。それを家族のスマホに送っておくとなお安心です。停電などでスマホが使用できない場合も考え、お薬の名前などを紙に書き、身に付けておくことも役立ちます。

また、病院受診時にお薬を全て飲み切って来院される方をよくお見掛けしますが、不測の事態に備え、少なくとも7日分の余裕を持ってください。

病院のお薬以外にも、**家庭の常備薬**も確認しましょう。傷薬、痛み止め、胃腸薬、風邪薬、絆創膏など、我が家の救急箱を作りましょう。

災害にどのように備えるか、政府の広報などを参考に家族で話し合うにも良い機会です。

※1 「お薬手帳アプリ」

- ①スマホで「お薬手帳アプリ」と入力し検索する。
 - ②いくつかある中から選んでアプリを入手し、登録する。
 - ③病院や薬局で渡されるお手帳シールのQRコードを、アプリ内のカメラで読み込む。
- 以上の手順でお薬の情報がスマホに記録され、その後アプリから繰り返し確認できます。



薬剤科

令和8年（2026年）度 糖尿病教室のご案内

《日時》 毎月第3木曜日 13：00～14：30

《会場》 本館3階 会議室 《参加費・申込み》 不要（※12月のみ要申し込み）

糖尿病や健康に関心のある方であれば、どなたでもご参加いただけます。

日程	タイトル	講師
10月15日（木）	薬の顔と作用を知ろう	薬剤師 平野 泰子
11月19日（木）	糖尿病性網膜症について	眼科医 金井 友範
12月17日（木）	糖尿病のよもやま話	理事長 森田 須美春
1月21日（木）	こわーい低血糖について	内科医 村上 拓
2月18日（木）	糖尿病と便秘 ～お腹の調子から分かる体のサイン～	内科医 金子 景弘
3月18日（木）	あなたの気になる合併症は！	病院長 藤井 郁三



ホームページ・採用サイトをリニューアルしました

このたび、三木山陽病院のホームページと採用サイトをリニューアルしました！
病院の診療情報や取り組みはもちろん、院内の雰囲気やスタッフの様子など、「三木山陽病院ってどんなところ？」がより伝わるサイトになっています。
採用サイトでは、実際に働く先輩の声や募集職種など、働くイメージが伝わる情報も掲載しています。
ぜひ新しくなったホームページ・採用サイトをチェックしてみてください！



ホームページは
こちらから！



院内に七夕飾りが登場しました

院内保育所の子ども達が作った飾りや病棟の七夕飾りなど、
院内が色とりどりの七夕飾りで彩られました。

患者さまのお食事も七夕仕様に
季節を感じられる、
院内のひとコマを
ご紹介します。



当院のイメージキャラクターが誕生しました

創立30周年を記念して、三木山陽病院
のイメージキャラクターを職員から募集
しました。

全73作品の中から投票の結果、

「サンちゃん」

に決定しました！



プロフィール

- 名前 サンちゃん
- 種族 妖精
- 誕生日 3月4日
- 性格 やさしく、思いやりがある
- 好きなこと 人とおしゃべりすること
- 趣味 みんなの笑顔を見ること

アクセスMAP



医療法人社団 朋優会

三木山陽病院

〒673-0501

三木市志染町吉田 1213-1

TEL 0794-85-3061

FAX 0794-85-3582

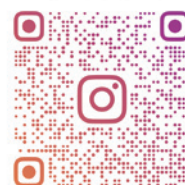
URL <http://www.hoyukai.or.jp>

E-mail info@mikisanyo-hp.com



Instagram

はじめました!!



MIKISANYO_HOSPITAL